

幼児と表現(音楽)

科目ナンバリング ESS-117
選択 2単位

田崎 教子

1. 授業の概要(ねらい)

幼児は日常生活や遊びの中で、自由にイメージを膨らませ、豊かに表現する。保育者には、そのような幼児のあるがままの姿を捉え、「表し」に気づき、「表し」の内側にある心を感じ取る力が必要である。また、同時に表現の「モデル」となって発信する力も必要である。

本授業では、領域「表現」のねらいと内容のうち、主に音楽表現に焦点をあて、保育者に必要な音楽的知識を学ぶと共に、それらを実践的な活動に結びつけられる力を身に付ける。

2. 授業の到達目標

1. 領域「表現」のねらいと内容について理解する。
2. 領域「表現」のうち音楽表現に関わる基本的な音楽理論を理解する。
3. 基本的な音楽理論を用いて、様々な音楽表現が展開できる力を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

- | | |
|------|-----|
| ①発表 | 60% |
| ②提出物 | 30% |
| ③平常点 | 10% |

4. 教科書・参考文献

教科書

文部科学省 『幼稚園教育要領』(平成29年3月告示) フレーベル館
厚生労働省 『保育所保育指針』(平成29年3月告示) フレーベル館
内閣府 文部科学省 厚生労働省 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(平成29年告示) フレーベル館
田崎教子編著 『誰でも弾けるこどもの歌50選』 ドレミ楽譜出版社

5. 準備学修の内容

活動によって、自宅での練習を必要とする場合があります。十分に練習をして臨んでください。
授業内容により、教材、教具を必要とする場合があります。予め準備をして臨んでください。

6. その他履修上の注意事項

グループワークを行う際は、積極的に活動に参加し、協調性をもって臨んでください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | 授業ガイダンス、シラバス説明
領域「表現」から小学校「音楽科」への連携・接続について |
| 【第2回】 | 領域「表現」のねらいと内容について
子どもの歌を歌う① |
| 【第3回】 | 「表現」における音楽表現とは
子どもの歌を歌う② |
| 【第4回】 | 幼児用楽器について
子どもの曲を奏でる① |
| 【第5回】 | 幼児用楽器の奏法について
子どもの曲を奏でる② |
| 【第6回】 | 音楽と言葉の関わりについて① |
| 【第7回】 | 音楽と言葉の関わりについて② |
| 【第8回】 | 音楽表現に関するグループ発表(1) |
| 【第9回】 | 子どもの曲をアレンジする① |
| 【第10回】 | 子どもの曲をアレンジする② |
| 【第11回】 | 総合的な表現活動の展開 |
| 【第12回】 | 総合的な表現活動の展開 |
| 【第13回】 | 保育者による発信的な音楽表現 |
| 【第14回】 | 子どもの音楽表現に対する応答的な援助 |
| 【第15回】 | 音楽表現におけるグループ発表(2) |